



## 探究のDNAを後輩に受け継ごう！

先日のCANでは、探究をさらによいものにするために、先輩として1, 2年生に質問&助言を行いました。皆さんの様子や感想から、教員顔負けの視点が身につけているのがわかります。この3年間で確かな探究力が身につけていると感じ、嬉しくなりました。

3年間CANでいい探究ができなくて、今振り返って考えてみると、先（ゴール）を考えていなかったのかなと思います。今日の1年生の話聞いていたら「ヘルシー」の基準とか「太らない」の基準とかが曖昧だったと感じました。CANというのは将来、大学などの研究に活かせるスキルを学ぶものだと思っています。だから、「ゲームでどうやったら勝てるのか」などの、より身近で簡単な探究が良いと思います。いきなり大学教授が研究しているような内容より中学生ならではの探究のほうが成功すると思います。「今、自分ができる内容で探究を進めていくことが大切」というのを3年間で学びました。難しすぎず、簡単でシンプルに。

後輩たちは「調べ学習」でとどまらないようなテーマだてができていて、自分とは大違いだと思いました。また、調べ学習になりそうな子にアドバイスをすると、きちんと受け入れてくれました。また、純粹に自分の知りたいことをテーマにしている感じがして、とても楽しそうな探究になるのではないかと思います。僕は調べ学習でとどまるCANばかりしてしまったけれど、後輩たちは大丈夫だと思います。また、「異学年」というめったにない機会を有効に使い、交流を深めていってほしいと思います。がんばってください！応援しています！

初めてアドバイスをおくる側として内容を聞いていると、明確でないところも少しずつあったけれど、ユニークな探究内容が多くて思っていたより楽しかったです。アドバイスをおくるという観点から内容を聞いていると、自分が1, 2年生の時は、曖昧だったり、よく分からなくて不安定なまま探究をしたりしたことがたくさんあったな…と自分に対しても気付けることが多くて勉強になりました。しかし、今回の話し合いでは「楽しい〇〇とは？」のような、「楽しい」というワードをよく聞きましたが、何を基準に「楽しい」とするのか、「楽しい」とはどんな状況かが難しいので、「楽しい」って単純なように聞こえて意外と複雑だと思いました。CANの自分で解決策を見つけるという考え方は大人になるにあたって必ず必要となるものなので、頑張してほしいと思います。



## 卒業式・謝恩会は最後の舞台

卒業式は学校でも最大の行事です。その卒業式とその後にある謝恩会は、みなさんにとって附坂中最後の行事です。3年団の全員が力を合わせることで最後の舞台です。そして、それを最も表現できるのは歌しかありません。いろいろな個性をもった人たちが、それぞれの声で、一つの歌声をつくる。一人一人の声質はばらばらだけど、それが一つになると、絶妙のハーモニーをつくることできる。そのハーモニーは附坂中3年生にしか作り出せないものです。ぜひ、**最高の歌声を！！**



\*変更されることもありますので、学校からの連絡に注意してください。

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
全校朝礼		3年午前3時間授業	公立一般選抜(学力) チャイムなし	公立一般選抜(面接・適性検査) チャイムなし		
12	13	<b>3月19日(月)</b> <b>公立高校合格発表</b> <b>受検票をもって。</b> <b>合格したら、受付で手続きをする。</b> <b>推薦合格者も、忘れずに行くこと。</b>				
卒業式予行 授賞式 同窓 会入会式 送別芸能祭	卒業式 					

## 羽生連覇に思う

たぶん、たくさんの人がニュースなどで見ていたことでしょう。ドラマよりドラマティックで、ドラマなら、あまりにもできすぎていると不評だったかもしれません。けれど、これは、本人が「僕は漫画やアニメの熱血系のアスリート」というように、けがをしていた2か月も含めて、考えられるあらゆる努力をしてきた人がたどり着く当然の結果なのでしょう。新聞やテレビのインタビューによれば、解剖学の論文や文献を読みあさって必要なトレーニングを研究・実践し、家では、汗だくになるまでイメージトレーニングを行い、ジャンプのフォームは昔の試合や映像を何度も確認し、完璧に滑る確固たるイメージを頭の中で繰り返したそうです。ふだんから、いろんなものを捨てて（好きな野球の観戦もコンサートも行ったことがない。同年代の仲間と連れだって遊びに行くことがない、など）、練習に打ち込んでいたとも聞きます。強い精神力の持ち主、と言うのは簡単すぎます。「スケートを滑れるかどうかというより、スケート自体をやめなければならないのかを考えたこともある」「生きていてよかった」という言葉から、他人にはわからない大きな苦悩を抱えながらの努力なのですから。



こんな人は、他にはいないでしょう。けれど、一方で、人間の可能性は計り知れないとも思いました。限界だと思っている以上に、人は努力できる。羽生選手に、自分の夢を実現するための努力の大きさを教えてもらった気がします。努力しても報われない、と感じることは多いけれど、羽生選手ほど努力したのか？と自問自答しました。すごい人に年齢は関係ないですね。羽生連覇に喜び、そして反省しました。

## 公立入試まで、あと・・・

これから入試までの過ごし方です。入試前1週間は、ゆったりした気分で過ごしましょう。あせっても良いことはありません。今できることが、当日も確実にできるようにすることが大切です。夜はゆっくり寝て、朝は早めに起きましょう。当日に合わせたリズムで生活するといいですね。今は体調を整えることが一番です。いくら知識を詰め込んでも、体調を崩して実力が発揮できなければ意味がありません。あとは服装・頭髮・準備物のチェックを忘れずにおきましょう。

皆さんの努力がどうか、報われますように……。祈っています。